

かわさき

ふれあいネットワーク

社協だより

2012.10 発行：社会福祉法人 川崎町社会福祉協議会
〒999-1501 川崎町大字新川字北原23-1
No.56 TEL 0224-85-1222 FAX 0224-85-1224
E-mail kawasaki-shakyo@io.ocn.ne.jp



福祉 体験 学習



夏休み福祉体験
-カレーをつくろう!!-



川崎町デイサービスセンター
利用者との交流会
-川崎第三小学校 3、4年生-



キャップハンディ体験
-川崎小学校 6年生-

福祉体験学習

福祉教育事業の取り組み

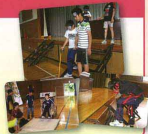
社会福祉協議会では、福祉体験をとおし、障害があるなしに関らず、人として思いやりをもった心を育んでもらおうと、キャップハンディ体験や、交流会などの福祉教育事業に取り組んでいます。



●キャップハンディ体験

今回、川崎小学校6年生の皆さんは、高齢者疑似、車イス、視覚障害体験をしました。白杖体験はアイマスクをするので頼りになるのは自分が持っている杖と周囲の声です。障害物を避けて歩くということが困難だったようです。高齢者疑似体験では全身に装具を付けて歩きましたが、思うように動けずいました。

車椅子体験では何度か乗ったことがあるという生徒がおり、友達にも教えながらやっていた。この体験を通して、少しでも思いやりの気持ちを持ってくれば良いと思います。



●夏休み福祉体験

7月26日(木)に小学生を対象に「夏休み福祉体験」を開催しました。キャップハンディ体験をしながらカレー作りをしました。子ども達は、車椅子に乗ったりアイマスクをしながら野菜を切るのに悪戦苦闘しつつも、お互いに協力し合いながら作業していました。自分達で作ったカレーは格別に美味しかったようで、おかわりする場面が見られました。福祉車輛見学では、普段見たことのない車に興味津々で見学していました。デイサービスセンターの利用者との交流会も行いました。



●第二小学校との交流会

6月21日、9月7日と川崎町デイサービスセンターの利用者さんと川崎第二小学校との交流会がありました。

小さな来客に利用者さんはとても喜んでいました。明るく元気な子ども達に釘付けでした。



誰でも気軽にできるボランティア活動 **ちょいボラ紹介****収集ボランティア活動**

集められた使用済み切手、プリペイドカード、ペットボトルのキャップはどのように使用されているか?皆さんはご存知でしょうか?実際に活用されている事例をご紹介します。

●使用済み切手

どんな切手でも大丈夫ですが、周りは1cm位残して切っているもの、消印を押された使用済み切手も施設づくりや海外の医療援助の資金として役立ちます。集まった切手はボランティアなどによって分類され、業者や切手収集者にkg単位で引き取られ、換金されます。絵柄によっては、本のおしりやストラップにし販売されています。その売上金も支援金となります。

**●使用済みプリペイドカード**

プリペイドカードにテレホンカード・クオカード・ハイウェイカード・図書カード等色々な種類のものがあります。ボランティアで収集され、収集団体から収集業者を通してお金に換金され、国内・国外の人々の医療・食料援助、学校建設などのために役立っています。

**●ペットボトルキャップ**

回収・リサイクルされたキャップの売却益が、NPO法人に寄付され、それがポリオワクチンとなり、支援国で子供たちにワクチン接種されます。

★キャップ400個で10円 ★20円でポリオワクチン1人分

日本では、ワクチン接種は当たり前となりましたが、世界には、まだまだ、ワクチン接種を受けられないことで、命を落とす子供がいます。小さな行動ですが、キャップをリサイクルすることで、救われる命があります。

**○ハッピーマジックショー**

8月20日(月)総勢11人のマジシャンによるハッピーマジックショーが行われ、川崎町サービスセンターの利用者さんと、児童教室の児童たち約100名が参加しました。実際に本物のマジックを見る事がなかなか無い中で、今まであった物が消えたりできたりと、目の前で起こる不思議な光景に皆さん目が?になっていました。

その中で児童教室の子供達に歌を披露していただいたり、子供達が実際にマジックを試してみたりと、内容盛りだくさんでとても楽しいひと時を過ごす事ができました。また、最後には、児童教室の児童より利用者さん達へ手作りのうちわもいただき、大変喜ばれていました。



ボランティアサマーフェスタ '12

8月26日(日)川崎町健康福祉センターで開催しました。当日は、24時間テレビ「愛は地球を救う」の募金活動も行い、募金額は、94,436円集まりました。また、チャリティーバザーの売上げ金50,650円とボランティア友の会の手づくり作品の販売売上げ金20,900円は、義援金として「東日本大震災みやぎ子ども育英募金」に寄付しました。

ふれあいコンサートや、木工教室などの各コーナーでは、ボランティアの皆さんと地域の皆さんとの交流がありました。



今回のボランティアサマーフェスタ開催にあたり、川崎町民生児童委員協議会、川崎町ボランティア友の会、ひまわりの会、柴田農林高等学校川崎校、富岡中学校、川崎中学校、多くのボランティアさんのご協力によって盛大に開催されました。大変ありがとうございました。また、参加していただいた皆さん、ありがとうございました。

赤い羽根募金運動が始まります

運動期間：10月1日～12月31日まで

今年も10月1日から「赤い羽根共同募金運動」が全国一斉に展開されます。

赤い羽根募金は、地域の福祉活動や、福祉施設、福祉団体、ボランティア活動充実のための支援や、大規模災害時の活動支援など配分され大切に使われております。今年も皆さんの温かいご協力をお願いいたします。

○皆様からの募金は、全額宮城県共同募金会へ送金し、平成23年度の事業として配分されました。

・ 新川東部行政区	170,000円	災害用備品：テントの配分として(脱着給付)
・ 社会福祉協議会	857,725円	地域福祉事業として [高齢者福祉事業、障害児・者福祉事業、ボランティア活動育成事業、福祉型体育成事業など]
・ 災害支援ボランティア資金	665,511円	災害ボランティアセンター運営、二次避難者支援として



熊よけ鈴の配布

川崎町では、今年に入り頻繁に熊の目撃情報が各地区より寄せられました。社会福祉協議会では、学校に通う児童生徒のみならず安心して登校できるようにと、子供見守り事業の一環で、町内の小学校等へ「鈴」を配布いたしました。



「男の料理教室」開催しました。

9月15日(土)川崎町健康福祉センターにて、料理をしたことがない方や、団塊世代の方々を対象とした「男の料理教室」を開催しました。今回は、ひと手間加えたカレーライスを作りました。人参や玉ねぎをミキサーにかけ、いつもとは違うカレーライス作りでしたが、カレーの出来栄えに参加者は大絶賛!!「家で作ってみたい」の声が(*^*)。参加された方は、是非、実践してみてくださいね。



認知症サポーター養成講座

今年も、認知症サポーター養成講座を各地区にて開催されております。今年は、認知症キャラバンメイトの皆さんが企画し、講座を開催しております。

この講座は、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を見守り、支援するサポーターを養成し、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指して開催しております。

認知症サポーター養成講座に関する問い合わせ
地域包括支援センター(84-6021)



介護保険事業所の紹介 川崎町デイサービスセンターでの取り組み

○川崎町デイサービスセンター夏祭り

今年も川崎町デイサービスセンターでは、8月7日～10日の四日間で夏祭りを開催しました。毎年恒例となっている「流しソーマン」では、ウォータースライダーの仕掛けを作成し、また、流す種も白色だけではなく、長生きの意味を込めた赤い色、お金持ちになれる!?黄色と黒にも嗜好を凝らし召し上がっていただきました。利用者の皆さんはココでしか味わえない種に「うめなあー」と笑顔を見せながら舌鼓をうっていました。

くじ引き大会も、今年は内容も更にパワーアップして豪華賞品を準備し、何が当たるのか皆さんで、とてものにぎやかに楽しんでいただきました。他にもソフトクリームやたこ焼き、フライドポテトなども召し上がっていただき、利用者の中には「こだに美味しいものごちそうになって、幸せだなあ」とお話される方もおりました。

今年も利用者のご家族へ、ご参加・ご協力をいただいたおかげで、熱く盛大に、そして笑顔のたえない夏祭りになりました。



団体・ボランティア活動だより

仙南身障体育大会の開催!

7月24日(火)川崎町立川崎中学校体育館を会場に、仙南7町身障協会の体育大会が開催されました。多くのボランティアさんの協力によって盛大に開催されました。アトラクションにおいては、支倉豊年踊り保存会の皆さんによる太鼓、川崎中学校の「ソーラン踊り」など迫力のある踊りなどを披露していただきました。



東方落語チャリティー寄席

9月1日(土)川崎町山村開発センターにおいて東方落語を呼び会が主催で「東方落語チャリティー寄席」が開催されました。会場には、250名を超える来場者で、東北弁の訛りを取り入れた落語が始まると、会場は笑いの渦になりました。チャリティー寄席の売上げ金は義理金として400,000円を「東日本大震災みやぎこども育英募金」に寄付し、町社会福祉協議会へも、37,246円寄付していただきました。



総合的学習事業「止下流交流事業」への協力

7月6日(金)川崎町立富岡小学校と、仙台市立西部丸小学校・東四郎丸小学校の4年生を対象に「水」をテーマとした人と水の関わり合いを学習の取り組みが行われ、みちのく杜の湖畔公園自然共生園を会場に開催され、それに伴い、青根温泉合同会社と川崎町ボランティア友の会に協力をいただき、カレーライスを作り、子供達に食べてもらいました。



コンフォートキルトの寄付

8月27日(月)ボランティア団体ひまわりの会(代表深堀美成さん)が梨田農林高等学校(川崎校)にコンフォートキルトを寄付しました。ひまわりの会は、東日本大震災後、世界中から集められたコンフォートキルトを被災地へ届ける活動も行ってあります。



被災地への支援活動

ボランティア団体ひまわりの会は、石巻市の仮設住宅等へ定期的に支援活動を行っています。今回は、旬の野菜の提供や、仮設住宅で作業衣作りをしながら慰問活動に行ってきました。昨年石巻市より二次避難された方達との交流が続いており、定期的に訪問し交流を深めています。



一人暮らし高齢者の集い 『ほのぼの会』の開催

65歳以上の一人暮らし高齢者を対象に、情報交換会、高齢者同士の親睦と福祉の向上を図るために開催します。

- 日 時：平成24年10月17日(水)
AM9:00 ~ PM4:00
- 場 所：宮城県登米市方面
- 参加費：1,000円
(不足分は社協で負担します。)
- 申込み：10月5日(金)
社協事務局まで申込み願います。
TEL 85-1222
- 集合場所：川崎町健康福祉センター
AM9:00まで



地域ふれあい福祉基金 募金自動販売機を設置

JAみやぎ仙南川崎産直センター様に募金自動販売機2台目を設置していただきました。納入者様サンペンディング東北様とJAみやぎ仙南川崎産直センター様の協力により、売上げの一部が社会福祉協議会へ寄付され、地域福祉事業に充てられます。ご協力ありがとうございます。



ボランティア募集!!

川崎町社会福祉協議会では、ボランティアを随時募集しています。



・認知症サポーター

・有償ボランティア活動

・スノーバスターズ
(雪かきボランティア活動)

・地域でのボランティア活動
(見守り・安否確認訪問など)

・趣味や特技をいかした活動

・施設でのボランティア活動

・学校支援ボランティア活動

お問い合わせは…社協まで!! ▶ TEL.85-1222